**資料２**

**宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害の発生状況**

**（平成21年～平成30年発生の休業４日以上の熱中症労働災害）**

１　熱中症による年別発生件数の推移（平成21年～30年速報値）

職場での熱中症による発生件数は、過去10か年に61件発生しており、平成21年以降、増加傾向であったが、平成30年に減少に転じた。

なお、平成23年と平成28年に死亡災害が発生している。

２　熱中症による災害の業種別発生状況（平成21～30年速報値）

過去10年間（平成21～30年速報値）の業種別の熱中症の発生状況をみると、建設業が14件（23.0％）で最も多く、製造業が12件（19.7％）、農林業が10件（16.4％）で続いており、この３業種で全体の６割を占めている。

死亡災害2件は、林業で発生している。

３　月別発生状況（平成21～30年速報値）

　　過去10年間（平成21～30年速報値）の月別発生状況をみると、毎年梅雨明

け・盛夏の時期となる7・8月に全体の約８割（48件）が発生している。

　　死亡災害2件は、6月に発生している。

４　時間帯別発生状況（平成21～30年速報値）

　　過去10年間（平成21～30年速報値）の時間帯別発生状況をみると、気温が上昇する10・11時台、気温が最も高くなる14時から15時台が多くなっている。なお、休憩時間となる12・13時台に発生は少ない。

　　死亡災害2件は、14・15時台に発生している。

５　年齢別発生状況（平成21～30年速報値）

　　過去10年間（平成21～30年速報値）の年齢別発生状況をみると、50歳代が22件と全体の36.1%を占めており、次いで40歳台、60歳台、30歳台、20歳台が10件～7件となっている。

　　死亡災害2件は、50歳代と60歳代となっている。

※　統計は労働者死傷病報告（休業４日以上）の数値である。